

さとやまに 未来を 育てよう。

記録本



さとやま
Social
GOOD
ひろしま さとやま未来博 2021

HIROSHIMA
SATOYAMA
MIRAIHAKU 2021

- 御挨拶 P02
- 第1章 事業概要 P03
- 第2章 事業の記録 P06
- 第3章 プロモーション P16
- さとやま Social GOOD メッセージ P18

御挨拶

令和3年9月から12月までの約3か月半、コロナ禍の影響を配慮してオンラインで開催してまいりました「ひろしま さとやま未来博2021」は、中山間地域の価値や暮らしに共鳴する人材の裾野を拡大するとともに、地域において一步前に踏み出すための様々なチャレンジを地域全体で後押ししていくことを目的として、地域づくり活動を実践されている皆様と一緒に進めてまいりました。地域資産を活用した活動をオンラインで体験できる「さとやまGOODプロジェクト」には、約3万人の方々が御参加され、プロジェクトを企画・運営していただきました地域づくり実践者の皆様からは、活動を更に大きくしていきたいという声をいただき、確かな手応えを感じているところでございます。

また、「地域でつながり、生まれる共感」など、3つのテーマで実施した「里山ココロザシ・カフェ」では、私自身も地域づくり実践者や活動に関心のある参加者の皆様と中山間地域の魅力や課題について語り合いました。そこでは、地域の抱える課題に向き合い、関係する方々と一緒に地道に取り組んでいくことの大切さを再認識するとともに、オンラインの特性を活かし、県外、更には世界中の方々とつながる中で、グローバルな視点で中山間地域を捉えていくといった新たな気付きもありました。

こうした取組により、4年前に開催した「ひろしま さとやま未来博2017」などにより広がりつつあった、地域を元気にしていく活動の輪が更に大きくなってきており、今後各地で、地域を巻き込んだ新しいチャレンジが次々と生まれていくことに大きな期待をしております。

県といたしましては、この未来博を通じて生まれたこうした動きを一過性に終わらせることなく、将来にわたって持続・拡大していくよう、引き続き、その源泉となる「人づくり」に重点的に取り組んでまいります。

県民の皆様におかれましては、持続可能な中山間地域の実現に向けて、一層のお力添えを賜りますよう、よろしくお願いいたします。

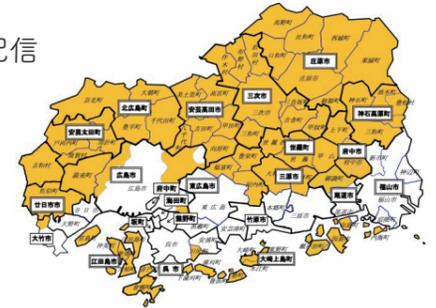
終わりにになりましたが、未来博に様々な形で携わっていただいた皆様、御支援、御協力を賜りました関係の皆様、心から感謝とお礼を申し上げます。



広島県知事 湯崎英彦

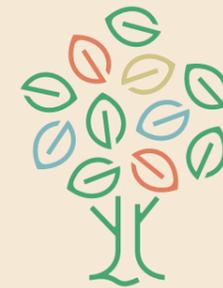
開催概要

- 名称: ひろしま さとやま未来博2021
- 開催期間: 令和3(2021)年9月5日(日)～12月19日(日)
- 開催場所: 広島県内の中山間地域を有する19市町
(広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、神石高原町)
- 開催方法: オンラインで体験できるプログラムの配信
- 目標: 特設サイトのPV数/120,000PV
チーム500登録者数/30人



さとやまに未来を育てよう。

ロゴマーク



さとやま
Social
GOOD
ひろしま さとやま未来博 2021

豊かな自然と人がつながる里山には、先人たちが培ってきた魅力的な暮らしや、生活を豊かにする知恵があふれています。すでに里山で芽吹いているGOODや、これから芽吹いていく新しいGOODを大切に未来へつないでいくために、私たちにできることがあります。資源や歴史を後世にいかしていくこと、今の時代だからこそ、創造できること、人と人とのいい関係をつむいでいくこと。

里山にもっと笑顔があふれるように、さあ、みんなで一緒に始めよう。さとやま Social GOOD

自然・人の暮らし・文化・活動など、地域の課題や地域に密着した関わり方、つながりのあるソーシャルな世界観を「木」で表現。GOODの“G”を葉っぱに見立て、「育っていく里山の未来の木」をシンボルロゴ化しました。